

日本医史学雑誌 第55巻 第1号

目 次

原 著

Cookery, Diet and District Nursing in late Nineteenth-Century London	Yuriko AKIYAMA	3
風土病マラリアはいかに撲滅されたか ——第二次大戦後の滋賀県彦根市——.....	田中 誠二, 杉田 聡 安藤 敬子, 丸井 英二	15
近世大坂における回生術と産科学.....	内野 花	31
京都大学整形外科学教室初代教授 松岡道治の事績, 業績 ——第3報 著書について——.....	廣谷 速人	43
「関格」名義変遷攷	小高 修司	57
仏教文献に見られる呪術的療法の伝統について ——概説——.....	山中 行雄, 山下 勤	77

シンポジウム「森林太郎と森鷗外」

1. “統計論争”をとおしてみた森林太郎 ——シンポジウムへの導入をかねて——	岡田 靖雄	97
2. 森林太郎の医学大業績 ——臨時脚気病調査会の創設とその成果——	山下 政三	101
3. 森鷗外と「北游日乗」, 「北遊記」 ——函館, 青森を中心として——	松木 明知	104
4. 森鷗外と医学留学生たちの交流	山崎 光夫	108

記 事

消 息

2008 日中張仲景学説交流会シンポジウム	松岡 尚則, 別府 正志 頼 建守, 山口 秀敏	111
-----------------------------	-----------------------------	-----

例会記録.....		112
-----------	--	-----

例会抄録

医療倫理教育と『信頼される歯科医師Ⅱ』.....	関根 透	113
馬醫の祖“伯樂”と“伯樂鍼経”の展開.....	亀谷 勉	114
マリー・キュリー夫人と放射能研究に殉じた最初の日本人研究者・山田延男 ——日仏修好150周年に因んで——.....	山田 光男	115

書籍紹介

新村拓著『日本医療史』.....	瀧澤 利行	117
------------------	-------	-----

片桐一男著『それでも江戸は鎖国だったのか——オランダ宿 日本橋長崎屋——』

..... 中西 淳朗 118

投稿規定..... 120

編集後記..... 122

《本号の表紙絵》

ボナミ『人体記述解剖学図譜 Atlas d'anatomie descriptive du Corps Humain』
第3巻（1850）からリトグラフによる食道の解剖図

ヴェサリウスの『ファブリカ』（1543）の解剖図は木版画によるものであったが、それ以後の解剖図では銅版画によるものが主流となった。人体解剖の現場を再現したビドロの『人体解剖学105図』（1685）、理想の人体を追究したアルビヌスの『人体骨格筋肉図』（1747）は、ともに銅版画による人体解剖表現の極致と目されている。しかし19世紀になって登場したリトグラフという新しい版画技術は、解剖図の意匠を大きく変えてしまった。単色で精細な表現を得意とする銅版画と異なり、リトグラフでは多階調で多色の柔らかな表現が可能となる。とくにフランスでは、リトグラフによる解剖図が好まれ、浩瀚な解剖図譜が出版された。ボナミによる『人体記述解剖学図譜』全4巻（1844-1866）もその一つである。縦隔の解剖を描いたこの図は、独自の構図であり、皮膚、毛髪および体壁の骨、筋だけでなく、動脈と静脈、神経、顎下腺、甲状腺、気管、食道、肝臓などさまざまな器官の質感が見事に描き出されている。リトグラフによる解剖図譜には、フランスではクロケーによる『人体記述解剖学』（1825）、ブルジェリによる『人体解剖学全提要』（1832-1854）、イギリスではクエインとウィルソンによる『解剖学図譜集』（1842）、ドイツではヘンケによる『人体局所解剖学図と記述』（1879-1883）などがあるが、ボナミの解剖図譜の表現力は、それらの中でも際だっている。

（坂井 建雄）